

校長室より

令和6年8月1日(木)



「中体連の大会が終わって」

6月に坂井地区、7月に県の中体連の大会が行われ、今月6日から北信越大会が新潟県において開催されます。

地区大会では本校の生徒は日頃の練習の成果を存分に発揮してくれました。たくさんさんの競技で県大会に進むことができ、なかでも女子バスケットボール競技、陸上競技、水泳競技、新体操競技で北信越大会にコマを進めることができました。

北信越大会に出場するみなさん、おめでとう!暑さ対策はもちろん、大会で100%のパフォーマンスを発揮するためにコンディションづくりには気をつけてください。

さて、県大会後にちょっといい話があったので紹介します。

県大会が終わった次の週に、剣道部とソフトボール部の選手が校長室にやってきました。選手たちは大会の応援に行った私たちにお礼を言いたいとのことでした。

選手「県大会では応援に来てくださり、ありがとうございました。」

私「よくがんばったね。時間がなくてあまり応援できなかったのは許してね。」

私「県大会を終えて今の気持ちはどうかな？」

選手「悔しい気持ちもありますがやり遂げることができてよかったです。部活動を続けたおかげで心も体も鍛えられました。」

私「これからもこの競技を続けるの？」

選手「まだわかりません。」「違う分野に挑戦したいなと思っています。」

私「こうやって足を運んでお礼を言いに来るのは君たちが初めてだよ。すごいね。これから時間のあるときに後輩たちのがんばっている姿を応援してあげてね。」

選手「は～い。」

確かに大会やコンクールでよい成績を収めるのは素晴らしいことですし、人一倍努力もしていることでしょう。しかし、私は部活動は人間形成の場でもあると思っています。時間を守り、場を清め、礼を尽くす…そんな人に育ててほしいと思っています。誰からも応援されるチームに、そして応援されたら必ずお礼が言えるチームに…今回、校長室を訪れた生徒たちの姿から、これからの坂井中学校の姿が見えたような気がします。